『新市長は政党より政策で選ぼう！』

これまでの経験と実績の 田中もとかず だから提案できる具体策。
未来をつくる羽曳野108条にご賛同ください！

『田中もとかず だから、できる！やる！実行する！』
『だれひとり、とりのこさない。
本当の意味での共生社会のまち 羽曳野をつくる』

目標①　新型コロナウィルス感染症の教訓から６

1　市内医療機関へのフェイスシールド、防護服、サージカルマスクの適正備蓄を支援します。
2　公共施設や公民館、自治会集会場への消毒剤、マスクの適正備蓄を進めます。
3　学校教育のオンライン学習対応、リモート化を進めます。
4　市役所に来なくても自宅・事業所で各種手続きができる行政オンライン化を進めます。
5　平時から市民の声をよく聞き、非常事態には即本当に市民が求めている対応できる行政運営に努めます。
6　公報掲示板を活用するなどし、伝えたい情報を多くの市民に早く、的確に伝えるため公報のスピード化を進めます。

目標②　いのちを守る　６

7　府下で立ち遅れている一分一秒を争う救命救急医療。搬送先病院の安定確保のため医療圏域の見直しに取り組みます。
8　街頭防犯カメラを増設し、犯罪抑止に取り組みます。
9　土砂災害警戒区域指定のための調査を推進します。
10　各地での豪雨被害情報をもとに、河川氾濫災害予測の浸水マップの見直しをします。
11　災害に備え、羽曳野市全域を５ｍ間隔で位置特定できるNコードマップを作製します。
※堺市ではコードマップを災害対応マップとして既に採用。消防・警察・消防団組織で共有されています。
※自衛隊の災害救援派遣は実は豪雨災害の件数が多いという事実があります。
12　府立動物愛護センター・市内の動物愛護団体と連携し、犬猫の里親探し譲渡会開催を支援します。

目標③　健康にくらす　９

13　高齢者のお出かけ（買い物、通院など）支援のため市内循環バスだけでなく、新しい移動手段に取り組みます。
14　歩道の整備、段差の解消・障害物の撤去を行い、誰もが安心安全に外出できるまちを目指します。
15　誰もが安心して外出できる環境づくりのため、車道と分離された遊歩道整備に取り組みます。
16　認知症の家族をもつ家族への支援をおこない、介護負担を軽減できる施策に取り組みます。
17　ＮＰＯ法人羽曳野柔道整復師会が考案したタケルくん健康体操を市民体操として広め、体力維持に努めます。
18　コミュニティソーシャルワーカー（社会福祉士）を増員し、複雑化する地域福祉の改善に取り組みます。
19　知的・身体障害をもつ方やその家族の不安を軽減し将来に希望がもてる地域共生社会実現に取り組みます。
20　後遺症に苦しむ薬害被害者相談窓口の創設に官民で取り組みます。
21　肝炎ウィルス検査率をアップし、肝臓がんの早期発見、がん死亡率低下を目指します。

目標④　人が育つ　15

22　未来をつくる人材育成の場として、創造力とＩＣＴ（情報通信技術）の向上を教育現場で行います。
23　すべての子どもたちのバランスのとれた栄養摂取のために、小中学校給食の無期限無償化に取り組みます。
24　学童保育の土曜開催と平日延長保育を実現します。
25　小中学校校区割り制度の弾力化に取り組み、安心安全な通学と、不登校児童の復帰を支援します。
26　保育園・子ども園入園希望者が一年間にわたり入園可能な待機児童実質ゼロ化に努めます。
27　高鷲・埴生地区に市民が憩える新公園を整備します。
28　こども食堂へ歯科衛生士を派遣し、児童の食育と口腔内健康につとめます。
29　学生が集まるまちを目指し、近隣大学と地域や商店、事業者が協働できる場づくりを進めます。
30　はびきの子育てネットに母子手帳機能を加え、妊娠、生後週数に応じた情報をお母さんのもとへ届けます。
31　子どもと親が共に成長できる家庭を目指し「親学」の学びの機会をつくります。
32　創造力や工夫する力を養う、プレイパーク活動を支援し、羽曳野全土に広めたいと思います。
33　懐風館高校を唯一の地元校として愛される存在とするため、校名に「はびきの」を冠するよう府に働きかけます。
34　大阪府立大学羽曳野キャンパスと連携を深め、次代の医療の担い手が羽ばたける「福祉に強いまち」を目指します。
35　グローバル社会化にあたり、多言語に対応した学校教育に努めます。
36　学校教育現場に教職員以外の人材を投入し、教職員が本来業務に集中できる環境を目指します。

目標⑤　魅力あるまちづくり　15

37　古市駅を関西観光ハブ拠点（吉野、明日香、高野山など）ととらえ、ホテル、民泊施設の誘致に積極的に取り組みます。
38　2025年大阪関西万博期間中、会場内で市民１万人が参加し、記念となるイベント「羽曳野Day」を目指します。
39　山間部を通る南河内グリーンロードと石川河川敷を周遊する国際規格の自転車ロードレース誘致を進めます。
40　応神陵詣を復活させ、誉田八幡宮と応神陵古墳の魅力を全国にＰＲします。
41　武士（もののふ）のルーツといわれる八幡太郎義家ゆかりの河内源氏三代墓と壷井八幡宮を全国にＰＲします。
42　日本遺産に立って世界遺産を眺める、日本唯一の景観としてヤマトタケル白鳥陵古墳周辺を美観整備します。
43　峰ヶ塚古墳を墳丘から古墳群が見渡せる古市古墳群最大のビュースポットとして周遊可能な登れる古墳に整備します。
44　飛鳥戸神社や飛鳥千塚に代表される渡来人の足跡を国際的にＰＲし、外国人観光客の誘致に取り組みます。
45　シルクロード最後の街道竹内街道を多文化交流ロードとしての国際的発信事業を企画します。
46　古市駅前に昔あった古栄座の名を復活したダンスや演劇に利用できる小劇場をつくり、若者の才能を育てます。
47　石川でカヌー体験などが出来る親水イベントを企画します。
48　石川河川敷でオートキャンプなど野宿体験ができる期間を設定し、羽曳野・藤井寺観光の１泊化を目指します。
49　ウィーン市との姉妹都市提携を活用し、ワイン、ぶどう、ハムと音楽を融合した西欧風収穫祭を企画します。
50　いちぢく・ぶどう・えんどうなど地元食材を使った新作スイーツコンテストを開催し話題を提供します。
51　南河内観光協会を大阪観光局、近隣市と協働で設立し、市域を超え一体化した南河内観光の魅力を発信していきます。